

第3次地域福祉活動計画の実施状況等

資料5

①平成28年度第3次地域福祉活動計画の実施状況及び
平成29年度第3次地域福祉活動計画の実施に向けた取組みについて

推進目標(1) お互いに理解しあい ふれあいを深めましょう

推進計画 住み慣れた地域の中で安心して生活していただけるために (P19~26)

具体的 推進 計画	No.	事業名等	平成28年度 実績	平成29年度 実施に向けた取組み	活動計画
①校 区 社 協 活 動 の 充 実	1	総会の開催	(73校区社協) 各校区社協で開催した。 150,694世帯	【計画:73校区社協】(目標:72校区社協) 各校区社協で開催する。	
	2	専門部会の設置・開催	(28校区社協) 各校区社協の実情に応じて設置・ 開催した。	(目標:37校区社協) 各校区社協の実情に応じて設置・開催 する。 支援員・事務局職員で聞き取り調査を実 施し、設置へ向けての検討・対応を行う。	
	3	ふれあい子育てサロン 事業の実施	(51か所 58校区社協で実施) 18,815名参加 各校区社協に活動助成金を交付した。 活動助成金:一般活動費 (上限43,000円) 特別活動費 (有料会場のみ上限24,000円) 担当者研修会 7月27日(水) 97名参加 (内容) 講話・グループワーク等	(目標:52か所 59校区社協) 各校区社協に活動助成金を交付する。 活動助成金:一般活動費 (上限43,000円) 特別活動費 (有料会場のみ上限24,000円) 担当者研修会7月25日(火) 予定 (内容) 講話・グループワーク等	(P19) (P20)
	4	ふれあい子育てサロン 事業のぼり旗の活用	ふれあい子育てサロンを実施してい る校区社協へのぼり旗を配付し開催 時に活用。 3校区社協(吉野・大明丘・中郡)に 2本ずつ作製、配布。	ふれあい子育てサロンを実施している校 区社協へのぼり旗を配付し開催時に活用 する。	
	5	介護講習会の開催	(50回) 45校区社協 1,498名参加	(目標:54回) 5月末現在、32校区社協35回申込 講師:日赤健康生活支援講習指導員 県介護福祉士会介護福祉士	(P21) (P22)
	6	校区社協ボランティア講 座の開催	(17回) 17校区社協 732名参加	【計画:20回】(目標:18回) 地域の支え合いをテーマとした講座など を開催し校区社協活動等に参加する人 材を確保する。	
	7	ふれあい交流活動 (高齢者・障害のある 方・子ども)	各校区社協で実施した。 (高齢者 71校区社協) (障害のある方 24校区社協) (子ども 64校区社協)	各校区社協で実施する。 (目標:高齢者 72校区社協) (目標:障害のある方 26校区社協) 【計画:子ども 65校区社協】(目標:56)	

具体的 推進 計画	No.	事業名等	平成28年度 実績	平成29年度 実施に向けた取組み	活動計画
② 校区社協活動等の支援	8	校区社協活動助成金の交付	(73校区社協) 各校区社協に交付した。	【計画:73校区社協】(目標:72校区社協) 各校区社協に交付予定。 活動助成金を交付する。(年1回) (80円×校区社協加入世帯数+15,000円)	(P23) (P24)
	9	校区社協広報紙作成費助成金の交付	(57校区社協) 延べ95件に交付した。 (1色刷り) 23校区43件 (カラー刷り) 34校区52件	(目標:72校区社協) 広報紙作成費助成金を交付する。 (年2回まで) (1色刷り) 10円×校区社協会費納入世帯数 (2色刷り) 15円×校区社協会費納入世帯数 (カラー刷り) 20円×校区社協会費納入世帯数 作成費が印刷種類ごとの単価と世帯数を乗じた額より下回る場合は、実際に要した費用を助成する。	
	10	町内会等への地域福祉活動費の助成	647町内会等、49地区民児協へ助成した。 地域福祉活動を活性化するために、赤い羽根共同募金にご協力いただいた町内会等に対して募金額の10%を、また封筒募金に取組まれた町内会に対して募金額の2%を助成した。	地域福祉活動を活性化するために、赤い羽根共同募金にご協力いただいた町内会等に対して募金額の10%を、また封筒募金に取組まれた町内会に対して募金額の2%を助成する。	
	11	校区社協連絡協議会の活動の拡充	幹事会 1回目 4月27日(水) 2回目 11月 9日(水) 総 会 5月18日(水)	幹事会 1回目 4月26日(水) 2回目 7月13日(木) 3回目 10月予定 総 会 5月10日(水)	
	12	校区社協連活動研修会の開催	新任会長・事務局長等研修会(1回) 6月29日(水) 校区社協連テーマ別研修会(2回) 8月 9日(火)、8月22日(月) 先進地視察研修(1回) 12月7日(水)鹿屋市社会福祉協議会、泉ヶ丘町内会	校区社協連テーマ別研修会(2回)を開催する。 8月上旬、8月下旬 ※新任会長・事務局長等研修会、先進地視察研修は、隔年開催。	(P25) (P26)
	13	校区社協活動等のPR	市社協広報紙「社協だより」で、校区社協活動を紹介した。	市社協広報紙「社協だより」で、校区社協活動を紹介する。	
	14	「みんなでつくる絆交流事業」助成金の活用	(62校区社協) 74事業 9,318名参加	(目標:70校区社協) 校区社協が主催・共催する地域での絆を深める行事等への助成金を交付する。 事業に係る経費の2/3を助成する。 (45,000円を上限)	

推進目標(2) 地域にある組織や団体と連携して活動しましょう

推進計画 地域の中で支えあい助けあいながら (P27～38)

具体的 推進 計画	No.	事業名等	平成28年度 実績	平成29年度 実施に向けた取組み	活動計画
① 福祉 ネット ワーク づく	1	「見守りネットワーク活動の手引き」の作成	平成26年度作成済。 (校区社協、町内会等での説明会等で活用した。)	平成29年度作成予定。	(P27) (P28)
	2	地域福祉支援員との連携	20年4月～6名配置 (プラザ3名、谷山ステーション3名)	各地域において、地域福祉ネットワークづくりの支援を行う。 (プラザ3名、谷山ステーション3名)	
③ 支え 合い マッ プの 作	3	支え合いマップの作成・活用	啓発研修会の実施 10校区社協 研修会の開催 (校区社協連テーマ別研修会)	要支援者等の情報を地図上に記入し、線で結んだマップを作成し、地域の福祉課題の把握・解決や見守り活動の更なる充実を図る。 啓発研修会の実施については、啓発用チラシを作成し、周知を図る。	(P29) (P30)
④ 地域 と福 祉施 設・ 福祉 団体 の連 携	4	福祉施設・福祉センター等の有効活用	地域福祉館を校区社協や地区民児協の会議、子育てサロン、介護講習会等に利用してもらった。	地域福祉館を校区社協や地区民児協の会議、子育てサロン、介護講習会等に利用してもらう。	
	5	地域福祉活動への施設職員等の参加	赤い羽根共同募金街頭募金への参加やボランティアでまちを美しく等への参加	赤い羽根共同募金街頭募金への参加やボランティアでまちを美しく等への参加協力を依頼する。	
	6	福祉団体等への助成事業の実施	市地区民児協、老人クラブ等へ助成金 3,817,500円を交付した。	福祉団体へ助成金を交付し、地域福祉活動に役立ててもらおう。	(P31) (P32)
⑤ 住地 域の 福祉 参加 活動 促進 への	7	町内会等への加入促進支援	社協だよりでの加入呼びかけの他、ふれあい子育てサロンや福祉館イベント参加者への呼びかけを行った。	社協だよりでの加入呼びかけの他、ふれあい子育てサロンや福祉館イベント参加者へ呼びかける。	

具体的 推進 計画	No.	事業名等	平成28年度 実績	平成29年度 実施に向けた取組み	活動計画
民⑤ の地 域参 加福 祉進 活 動へ の住	8	わくわく福祉交流フェア の開催	鹿児島市との共催で11月13日(日) に「第5回わくわく福祉交流フェア」を 開催した。 場 所:上町ふれあい広場他 参加者数:約26,000名 内 容:ボランティア推進校表彰式 福祉施設製作品展示ほか	福祉への理解を深めるため、鹿児島市 と共催して「第6回わくわく福祉交流フェ ア」を開催する。 期 日:11月5日(日) 場 所:上町ふれあい広場及び ベルク広場	(P33) (P34)
	9	高齢者安全杖有償提供 事業の実施	社協施設14か所で 981本提供	社協施設14か所で提供する。	(P35) (P36)
⑥ 在宅生活 支援事業の 充実	10	歳末たすけあい募金助 成金事業の実施	在宅で寝たきりの高齢者に対する 年末見舞品を1,830名に贈呈した。 在宅重度中度心身障害児に対する 年末見舞金を631名に贈呈した。	在宅で寝たきりの高齢者に対する 年末見舞品を贈呈する。 在宅重度中度心身障害児に対する 年末見舞金を贈呈する。	
	11	交通遺児等入学祝い金 贈呈事業の実施	小学校入学 0名×15,000円 中学校入学 3名×20,000円 高等学校等入学 6名×25,000円	交通事故で父または母を亡くした子ども 達等に、入学支度金の一部としてお祝い 金を贈呈する。 小学校入学 15,000円 中学校入学 20,000円 高等学校等入学 25,000円	(P37) (P38)
	12	福祉功労者の表彰	2月10日(金)開催 表彰状の部 団体:12団体 個人:33名 感謝状の部 団体:33団体 個人:14名	福祉に貢献された個人・団体の方々を 表彰する。	
	13	福祉サービス利用支援 事業の実施	利用者 34名 専門員 2名	4月末現在 利用者 36名 専門員 2名	
	連⑦ 携深 刻な 生活 課題 や孤 立防 止に 向け た	14	地域における個別の福 祉課題の発掘・支援	個人からの相談件数 37 件	家に閉じこもりがちな方の生活課題や制 度の狭間で支援につながりにくい方の生 活課題を発掘・支援するため、地域にお けるコミュニティーワークの充実を図る。
15		相談・支援体制の強化	団体からの相談件数 1,633 件	地域住民から寄せられるあらゆる生活課 題についての相談を受け止め、様々な専 門機関との連携を図り、解決に向けた支 援や取り組みを行う。また、組織内にお ける相談者の情報の共有を図る。	

推進目標(3) ボランティア活動を支援し推進しましょう

推進計画 地域住民の参加と支援のもとに (P39～48)
地域福祉に参加する人づくり (P49～50)

具体的 推進 計画	No.	事業名等	平成28年度 実績	平成29年度 実施に向けた取組み	活動計画
① ボ ラ ン テ ィ ア セ ン タ ー 事 業 の 拡 充	1	ボランティアセンター運 営事業	ボランティア登録受付や会議室の貸 出等の業務を行った。 来場者数 29,845名	ボランティア登録の受付や会議室の貸 出などの業務を行う。	(P39) (P40)
	2	ボランティア相談の受付	ボランティア活動に関する相談等の 受付業務を行った。 (3,715件)	【計画:3,800件】(目標:3,200件) ボランティア活動についての相談などの 受付業務を行う。	
	3	ボランティア登録の推進	インターネット等を通じてボランティ ア活動についての情報提供を行っ た。 (77,742名) (494団体 77,116名、個人 626名)	(目標:90,000名) ボランティア活動についての情報提供 などの業務を行う。	
	4	コーディネート機能の充 実	ボランティア活動を行う団体・個人と ボランティアを求める施設等とのコー ディネート業務を行った。 (3,104件)	(目標:3,200件) ボランティア活動を行う団体、個人と ニーズ団体等との橋渡しを行う。	
	5	ボランティア活動保険の 加入促進	ボランティア登録団体・個人に対 してボランティア保険への加入促進を 図った。 (9,273名)加入	(目標:9,600名) ボランティア活動中の事故に対するボラ ンティア保険の加入促進を行う。	
情② ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	6	ボランティアセンター講 座の実施	学校からの依頼により、福祉体験等 の講座を実施した。 (9回開催) 参加者 425名	(目標:12回) ボランティアセンターにおいて、ボラン ティアに関する講話や福祉体験等の講座 を行う。	(P41) (P42)
	7	ボランティア出前講座の 実施	依頼のあった学校等に出向いて、 福祉体験等の講座を実施した。 (27回開催) 参加者 1,318名	(目標:28回) 地域や学校、企業等に出向き、ボラン ティアに関する講話や福祉体験等の講座 を行う。	
	8	災害ボランティア研修会 の実施	鹿児島市の防災対策や災害ボラン ティアセンターの運営訓練等の研修 会を開催した。 第1回 9月8日(金) 42名 第2回 12月7日(金) 89名	災害ボランティアとして登録している団 体、個人を対象に、防災・減災意識の向 上を図ることを目的に実践的な研修会を 開催する。 第1回 9月予定 第2回 12月予定	
	9	災害ボランティアセン ター運営訓練の実施	行政が実施する桜島火山爆発総合 防災訓練において、避難住民による 避難所運営訓練に参加した。 29年1月12日(木) 108名参加	桜島火山爆発総合防災訓練に参加し、 災害ボランティアセンターの運営訓練を 行う。	
情② ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	10	ボランティアセンター広 報紙(ボラセンだより)の 発行	ボラセンだよりを年3回発行し、ボラ ンティア登録団体や関係機関等に配 布した。各15,000部発行	ボランティア活動に関する情報等を掲載 した広報紙「ボラセンだより」を年3回発行 (10月・1月・4月)する。	
	11	ボランティアセンターの 案内放送を市電・市営 バス内で実施	市電・市バスの車内において、ボラ ンティアセンター案内放送を行い、セ ンター業務についての周知広報に努 めた。	市電・市バス車内で、ボランティアセン ターの案内について放送する。	

具体的 推進 計画	No.	事業名等	平成28年度 実績	平成29年度 実施に向けた取組み	活動計画
ク③ のボラ ンテ ィア 活 動 ネ ッ ト ワ ー	12	ボランティアニーズ団体 等連絡会の実施	ボランティアニーズ団体・施設を対 象に、登録更新時に連絡会を開催し た。 49団体参加	ボランティアの受入施設・団体等を対象 とした連絡会を開催する。 年1回開催	(P43) (P44)
	13	ボランティア活動推進委 員会の設置・運営	ボランティアセンター運営やボラン ティア活動事業実施についての審議 を行った。 第1回 28年6月23日(木) 平成28年度活動振興事業実施計画 について等 第2回 29年2月22日(水) 平成28年度活動振興事業の実施に ついて(中間報告)	ボランティアセンター運営やボラン ティア活動のあり方等について審議する。 年2回開催	
充④ 実ボ ラ ン テ ィ ア 推 進 校 活 動 の	14	ボランティア推進校支援 事業	新たに高校1校を指定し、合わせて 137校の指定校の活動を支援した。 (137校指定) (小80校、中40校、高17校)	ボランティア推進校として、指定を受け た学校へ助成金を交付するなどの支援を 行う。 6月末現在137校指定 (目標:145校)(149校中) 小80校(81校中) 中44校(45校中) 高21校(23校中)	(P45) (P46)
	15	ボランティアリーダー研 修会の実施	ボランティア推進校指定校の児童・ 生徒を対象に「災害ボランティア研修 会」を開催した。 8月10日(木) 68校 210名参加	推進校の児童・生徒を対象に、リーダ ー養成のための研修会を開催する。 8月 開催予定	
⑤ 青 少 年 ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 の 推 進	16	サマーボランティア体験 の実施	各学校の児童・生徒・学生が夏休み 期間中に、福祉施設でのボランティア 体験を行った。 (99施設 657名) 7月2日(土)参加者説明会	ボランティア活動に関心のある児童・生 徒・学生を対象に福祉施設でのボラン ティア体験事業を行う。 (目標:100施設 780名) 7月8日(土)参加者説明会 7月21日～8月31日体験	
	17	「青少年ボランティア活 動記録集」の作成	青少年ボランティア活動記録集を作 成し、各学校に配布した。 1,500冊作成	ボランティア活動を促進するための福祉 活動意欲の高揚を図るため、青少年ボラ ンティア活動等の記録集を作成する。	
	18	「児童・生徒のふれあい ボランティア活動」の実 施	小学校、中学校、高校の児童・生徒 のボランティア活動の促進に努めた。 (認定書発行者数 83名) ボランティア活動認定証発行	(目標:250名) 児童・生徒のボランティア活動に取り組 むきっかけづくりと活動の定着を図るた め、ボランティア活動の実績に応じて活動 認定証を発行する。	
テ⑥ イ高 ア 活 者 動 ボ ラ 推 進	19	「高齢者いきいきポイン ト推進事業」の実施	市民福祉プラザと谷山支所において 登録説明会を行うなど新規登録者の 確保に努めた。 (登録者数1,271名) 説明会開催回数12回	(目標:1,300名) 65才以上の元気な高齢者の生きがいづ くりを推進し、健康増進や介護予防を促 進するためボランティア活動等を行った高 齢者にポイントを付与する。 貯まったポイントは交付金に転換するか、 市社協へ寄付することができる。	(P47) (P48)
活⑦ 動企 業 促 進 ボ ラ ン テ ィ ア	20	「ボランティアでまちを美 しく」の実施	28年4月24日(日)に「第6回ボラン ティアでまちを美しく」の清掃活動を 実施し、市民、企業、学校、ボラン ティア団体などから2,008名の参加があ った。	【実績:2,028名】(目標:2,000名) 29年4月23日(日)実施 ボランティア活動に参加するきっかけづ くりとして、一般市民やボランティア、企 業、学校等に呼びかけ、鹿児島中央駅周 辺及び天文館周辺のゴミ拾い清掃活動を 実施した。	(P49) (P50)

推進目標(4) 市地域福祉計画との連携を図ります

推進計画 行政と協働で取り組む福祉のまちづくり (P51~52)

具体的 推進 計画	No.	事業名等	平成28年度 実績	平成29年度 実施に向けた取組み	活動計画
④ 地域における活動拠点の活用	1	地域福祉館の有効活用	福祉館職員の研修の実施 館長連絡会の開催(月1回) 福祉館職員(嘱託)の研修の実施 (年6回) 福祉館職員(指導員)の研修の実施 (年3回) 校区社協等、地域の団体との連携 (2,095回) 地域福祉支援員との連携 (2,451回) 地域福祉館イベントの開催 (55回)	市社協が指定管理者として、地域福祉館の管理運営を行う。 福祉館職員の研修を実施する。 館長連絡会を開催する。 福祉館職員(嘱託)の研修を実施する。 福祉館職員(指導員)の研修を実施する。 校区社協等、地域の団体との連携を図る。 地域福祉支援員との連携を図る。 地域福祉館イベントを開催する。	(P51) (P52)
	2	福祉館サロンの実施	福祉館サロンの実施(14館:3,933名)	ひとり暮らしや家の中で過ごしがちな高齢者とボランティアが福祉館を利用したふれあい交流をする。	
	3	毎日型のサロンの実施	毎日サロン「かたいもんそ」の実施 (36館:6,886名)	ひとり暮らしや家の中で過ごしがちな高齢者が気軽に外向き、コミュニケーションを図るために福祉館のロビーなどを活用する。	
	4	「福祉館だより」の発行	福祉館だよりの発行 (41館:年4回発行)	福祉館事業の案内や校区社協、町内会等の地域福祉活動の情報提供をする。	
福⑤ 社公 団の 体財 等源 の等 財に 政よ 支る 援民 間	5	民間団体等の福祉活動の基盤整備事業への協力	各種団体(財団等)が実施している補助事業や助成事業等についてどんだんNETへの掲載及びボランティアセンターに掲示	各種団体(財団等)が実施している補助事業や助成事業等についてどんだんNETへ掲載したりボランティアセンターに掲示する。	(P51) (P52)

推進目標(5) 市社協の基盤を強化します

推進計画 市社協の活動への市民の参加と支援 (P53～58)

具体的 推進 計画	No.	事業名等	平成28年度 実績	平成29年度 実施に向けた取組み	活動計画
実① な地 域福 祉活 動計 画の 確	1	地域福祉活動計画 推進委員会の設置	計画の進行管理についての協議 等 第1回 7月 26日(火) 第2回 2月 8日(水)	計画の進行管理についての協議等を行う。 第1回 7月 6日(水) 第2回 2月 予定	
	2	地域福祉活動計画 推進委員会幹事会の設置	計画の進捗状況についての協議、活動発表 等 第1回 7月 1日(金) 第2回 1月31日(火)	計画の進捗状況についての協議等を行う。 第1回 6月23日(金) 第2回 1月 予定	
② 広 報啓 発・ 情報 提供 の拡 充	3	「社協だより」の発行	年4回発行した。 (4月・7月・10月・1月) 町内会加入世帯へ全戸配布	年4回発行する。(4月・7月・10月・1月) 各回30,000部発行予定 町内会で班回覧する。	(P53) (P54)
	4	音声版「社協だより」の 発行	年4回作成した。 (4月・7月・10月・1月)	視覚障害者へのサービス向上の一つと して、音声版の社協だよりを作成する。 年4回×200部発行予定	
	5	社協出前講座の実施	社協に対する理解を深めていただくため、職員が市民の開催する集会等に出向き、社協出前講座を46回実施した。	社協に対する理解を深めていただくため、職員が市民の開催する集会等に出向き、事業についての説明を行う。	
③ 財 政基 盤の 拡充	6	会員制度の普及・拡大	会員加入促進のリーフレット作成 校区社協会員 150,694世帯 一般会員 1,932名・団体等 特別会員 999名・団体等 法人会員 381事業所 法人特別会員 216事業所	会員加入促進のリーフレットを作成する。	(P55) (P56)
④ 市 民の 信頼 と負 託に 応え る市 社協 の運 営	7	職員のボランティア活動 の実行	職員の自主的なボランティア活動の 促進 ・早朝清掃ボランティア(毎月2回) ・甲突川緑地清掃活動への参加(50名) ・おはら祭り前夜祭運営 ボランティアへの参加(16名) 等	職員の自主的なボランティア活動の促 進を図る。	(P57) (P58)
推⑤ 進共 同募 金運 動の	8	共同募金運動の推進	街頭募金への協力(2,758名参加) 広報活動の充実(社協だより、どんど んNET) 募金用途の情報開示(社協だより、ど んどんNET、街頭募金時のパネル)	街頭募金への協力 広報活動の充実を図る。 募金用途の情報開示を行う。	